

第2回根室市子ども・子育て会議記録

1 開催日時 平成26年12月8日(月) 午後3時00分～4時10分

2 場 所 根室市 3階 第一委員会室

3 概 要

- ・議事1 社会福祉課長より開会挨拶及び委員の改選に伴う委員の紹介
- ・議事2 会長挨拶

・議事3 (1)～(3)について事務局より、資料に基づき説明

(1) アンケートの結果について

(2) 根室市子ども・子育て支援事業計画骨子(案)について

(3) 計画の必須記載事項について

・教育保育提供区域の設定

・量の見込みと確保方策数値

(質疑応答等)

(委員) : アンケートの結果について、際立って特徴的な結果となっているものはありますか。

事務局 : 「子育てに日常的にかかわっている方はどなたですか。」という問いに対して、父母ともにと回答が64.0%となっており、父親の子育て参加が増加しているのがうかがえた。

また、祖父母という回答が30.1%あり、根室の地域として祖父母が近隣に居住していることがうかがえる。

事務局 : 「放課後(平日の学校終了後)の時間をどのようにすごしていますか(現状)。」という問いに対して、週5日自宅で過ごしているが38.81%となっているが、「希望」が週2日及び3日を合わせると約39%であることなど、自宅以外ですごして欲しいという結果がうかがえる。

また、「習い事(スポーツ・塾など)(現状)」については、週1日と週2日で60.34%、習い事に行かせたいという「希望」は週1日と週2日で61.83%となっており、現状とほぼ同じであった。

少年団活動(現状)について、週2日くらいが約33%、週3日くらいが約22%、週4日くらいが約14%、週5日くらいが約19%と、小学生は週に3日から5日間少年団活動を行っているという実態であった。希望については現状とほぼ同じであった。

(委員) : 現在は、待機児童がないので、現状のまま施設が利用出来るのではないか。放課後教室の高学年の利用及び障がいのあるお子さんについての今後の施策はありますか。

私どもも、昨年4月から放課後児童クラブでの障がいのある子どもの受入をしていますが、市も枠を広げて対応していただきたい。

事務局 : 高学年については、放課後教室において、平日は少年団活動により利用は、ほとんどない状況。

土曜日の利用希望は、4～6年生が18人（33%）、長期休業中（夏季休暇等）は24人（44%）となっている。

放課後教室は、1年から6年生、児童会館で中学生まで、自由に遊べる状況となっている。

高学年の利用については、間口拡大について検討したい。

- ・議事3（4）子ども・子育て支援新制度について
- （5）根室市での条例制定・改正について

（質疑応答等）

（委員）： 要望となりますが、40年程前は、加工場等で働いていた場合、預ける施設がなくおんぶをして仕事をしていました。

過去に逆戻りしないような基準と今までの経験を保育士さんが活かせるような状況で継続してほしい。

また、障がいのあるお子さんについてもアンケート以外でも利用したい方がいると思うので、支援出来るようにしていただきたい。その施策について聞きたい。

事務局： 現在、障がいのあるお子さんについては支援員を配置し、各放課後教室を巡回し、指導員とともに対応している。

また、指導員は年に3回から4回の研修機会があり、今年、市内では、障がい児関係の研修会に2回参加しており、今後も継続して行っていきたい。

事務局： 保育所については、障がいの中程度であることや親が送迎可能であることなど、要件を満たした場合は入所出来る状況である。

入所した場合は、その子に対して専門的に1対1で保育士を配置するなどに対応している。今後も関係部署との連携を図っていきたい。

（委員）： 今回の子ども・子育て支援新制度については、親御さんが保育所へ預けやすくなり、幅広く受け入れることが出来るようになったとして理解していいか。

事務局： そのように理解していただきたい。

- ・閉会